

予 餞 会



卒業式を2日後に控えた2月27日（火）、「様々な企画を通して在校生が卒業生に対し感謝の意を伝え、また、卒業生が在校生や教師に対し卒業に際して思うことを伝えること」を目的とし、予餞会を実施しました。各学年からの映像とパフォーマンスや職員企画の後、卒業生全員が一人一言ずつステージで思いを伝えました。卒業生の一人、岸上穂乃香さんからは、「高校生活は長いようであつという間に過ぎていくので、一日一日を大切に過ごして下さい。」とメッセージがありました。

実行委員長の和泉雛乃（2年）さんは次のように述べています。

「今回私たち予餞会企画委員会は、一ヶ月に満たない期間で企画・準備を行ってきました。今年から1・2年生は桜の会として活動し、3年生への感謝の気持ちを伝えました。練習時間が短い分色々な問題に直面しましたが、企画委員全員で協力して本番を迎えることができました。完璧とは言えなかったかもしれませんが、完成度にこだわったパフォーマンスをそれぞれが意識し、創り上げた予餞会でした。1年生は心のこもった映像とお世話になった部活動の先輩へのメッセージ。入学してすぐセミナー研修で教えてもらった黒潮校歌を大きな声で披露しました。2年生は、3年生への感謝の映像と歌、これからも頑張りたいという願いを込めて大輪の向日葵を描きました。様々な形で3年生に今までの感謝の気持ちを伝えることができましたと思います。」



1年生全員による黒潮校歌



**2年生が描いた向日葵の前で
思いを伝える3年生**



**最後に全員で輪になって
校歌を歌いました。**